



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

経皮吸収型製剤

貼り薬というところ、腰痛、打撲やねんざなどで使用するシップ薬を思い浮かべる方が多いのではないかと思います。シップ薬は、肩や腰などの患部に直接作用して炎症(腫れ)や痛みをおさえてくれますが、最近貼った場所ではなく全身に作用する貼り薬もたくさんあり「経皮吸収型製剤」と呼ばれています。

この経皮吸収型製剤は、有効成分が少しずつ皮膚から血液の中に入り、血流にのって患部に運ばれ効果を発揮します。このため貼っているあいだ作用が続く、1日中または数日間効果が持続します。また、はがすと薬の吸収が止まるので、副作用が起こった時など、はがすことで薬の影響を早く取り除くことができます。

これらの薬は、皮膚に貼るため、皮膚の弱い方ではかぶれることがあります。薬によって貼る場所の範囲が決

まっています。毎回同じ場所に貼る必要はなく、たとえば、狭心症を予防する薬では、心臓の真上に貼る必要はないので、決められた範囲内で毎回貼る場所を変えた方が、かぶれる心配が少なくなります。それでもかぶれる場合には、医師か薬剤師に相談してください。また、金属箔を使用している貼り薬もあり、AEDを使用する際にははがすなどの必要があるので、貼る場所はきちんと守ってください。

経皮吸収型製剤は、貼りかえるタイミングも決められています。このタイミングを守らないと、薬が効きすぎたり、逆に効かなかったりしますので、薬は決められた通りに貼ってください。はがし忘れて新しい薬を貼ってしまうと、薬が効きすぎて副作用が起こることもあるので、忘れずにはがしてから貼るようにしてください。また、基本的に長時間貼ることを前提に作られているので、これらの薬を貼ったままお風呂に入っても問題はありますが、ゴシゴシするとはがれることがある

ので注意してください。1日1回タイプで貼りかえる時間が決められていない場合は、お風呂上りに貼りかえるようにすると、入浴中にはがれても、入浴後に新しい薬を貼ればよいので、無駄になることがないのでよいでしょう。汗などの水分があると、はがれることがあるので、しっかり拭き取ってから貼るようになってください。

経皮吸収型製剤を切って使用できるかは、薬によって違います。また、貼っている途中ではがれてしまった場合に、貼りなおしてよいのか、新しい薬を貼ってよいのかも薬によって違うので、いずれの場合も医師か薬剤師にあらかじめ聞いておくとういでしょう。

使い終わった薬を捨てる際には、有効成分がまだ少し残っているので、子どもなど他の人が間違えて貼ることのないように、接着面を内側に折りたたむなど使用できないようにしてから捨ててください。

(北区 薬局エビノファーマシー)

松本 博志